

リレートーク

テーマ「手と手をつないでボランティア ～これからの豊中の市民活動～」



右から

・コーディネーター：玉置 好徳先生（梅花女子大学講師）

・パネラーの皆さん

松井淳太郎氏

（企業・団体ボランティアネットワークとよなか）

細谷正純氏（市社協登録ボランティアグループ「みちしるべ」）

葛西美紗氏

（特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか）

稲谷弘子氏（西丘校区社会福祉協議会）

山口貴子氏（市役所職員：服部南保育所）

第9回豊中ボランティアフェスティバルの中でも注目を集めたのは「リレートーク」でした。

「今世紀はボランティアの世紀である」という玉置先生の基調講演に始まり、さらに各パネラーが各方面での地道なボランティア体験を通しての苦労話や反省点を述べました。ボランティア同士だから理解し合えるお話もあり、価値高い意見が多くその一語一語に聴衆はうなづいていました。

貴重なリレートークであり、今後に生かしたいと思います。（アクセス M. Y.）

第9回 豊中 ボランティア

2月17日(日)、豊中市民会館で開催さ
子ども遊びコーナー、リレートーク、福祉
企画が用意され、子どもから大人まで

福祉体験作文

「体験の中で感じたこと学んだこと」をテーマに市内
の小・中・高校の児童・生徒を対象に作文を募集し、7名
の方にボランティアフェスティバルで発表していただきました。

「西町バリアフリーへの道」

市立西丘小学校 六年 山口翔平

ぼくは福祉体験をして さはわからないし、たとえ
みて、いままで便利だと 足のけがなどで車いすの生
思っていたこの町の見方が 活を強いられても、なおれ
かなり変わりました。な ばわすれてしまうかもしれ
ぜなら、この町には車い ません。なので、車いすの
すに乗っている人にとつて 人の立場に立つてみた時の
不便な段差や坂がたくさ 事をだれもが心に深く刻
んあるし、目が見えない む事が出来た時、その時
人の頼みの綱である点字 が、「西町バリアフリー」の
ブロックが横断歩道の片 完成の時だと思っています。
方になか無かったりする 《その他発表していただいた方》
からです。

今回の福祉体験で、ぼくはこの町を誰もが住み
やすい町に変える事はでき
ないと、道をせまくしたり
点字ブロックをかくすよ
うな自転車の止め方をす
る人がいたら、役所がど
んなに道を広くしたり、
点字ブロックをふやして
も、全く意味が無いから
です。

でもぼくも、この体験
をするまでは気付かなか
ったし、一回車いすに乗っ
てみないとこういう不便

「ディケアセンターへいった」
小曾根小学校三年 加舎侑花
「ボランティアセンターに
行った」
南桜塚小学校四年 曾我部夏実

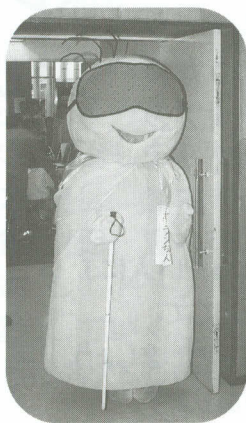
「お年よりの方の立場になって」
寺内小学校四年 川元一輝
「ボランティアを通して」
第二中学校一年 高田怜奈

「耳の不自由な人のことを
考えよう」
第四中学校一年 阪井美帆

「おばあさん、おじいさんから
教えてもらったこと」
第十四中学校一年 堀江知世

ファミリーボランティア体験コーナー

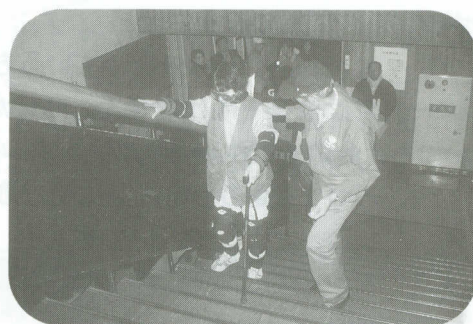
参加者
120名!!



手づくり特製アイマスク(「小さな手」作)
で「ボランちゃん」もアイマスク体験!!

手話、対面朗読、インスタントシニア、点字、アイマスク、ホームページ作成、車椅子、リフト付自動車試乗体験の8つの体験ポイントをスタンプラリーで回り、5つのスタンプが集まったら景品をプレゼント! というファミリーボランティア体験コーナーは大盛会。やる気満々。熱気ムンムン。どのコーナーも順番待ちの列ができスタッフは大わらわ。

インスタントシニア体験コーナーでは、昨年大阪ガスより体験装具の寄贈を受けたのが縁で、20名の社員が体験、応援参加。市民と企業とボランティアがひとつになり、つながりの輪を広げ、体験以上の成果を納めました。(ステッキ K.S.)



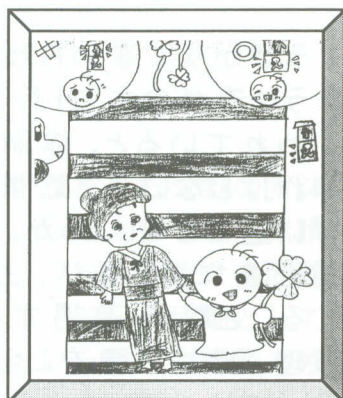
インスタントシニア体験コーナー

フェスティバル

れました。ファミリーボランティア体験、の店「なかま」の出張店などさまざまな約1500人の方々が来場されました。

ボランティアイラストコンクール

市内の小・中・高等学校の児童・生徒対象に、『「ボランちゃん」がボランティア活動をしている姿』をテーマのイラストを募集したところ、274点もの応募がありました。その中から、最優秀作品1点と優秀作品9点が選ばれ、ボランティアフェスティバルの中で表彰式が行われました。



最優秀作品:市立緑地小学校4年
新鍋 佑梨 さん

子ども遊びコーナー

子ども遊びコーナーでは、折り紙で作った小さい小さい金魚がぶらさがったモビールが揺れ、子どもたちが喜びそうな動物やトトロといったアニメの主人公、折鶴も普通ではなく変わった形のものなどがいっぱい飾られていました。

サイコロのような四角や三角の箱を折っている子ども達は、少し難しかったようで老人大学の人に手伝ってもらって完成し大喜びしていました。

見るだけでも楽しく、やってみるともっともっと楽しいコーナーでした。(そよかぜ N.I.)

